

山形県における堆肥の生産量と利用状況

(平成17年堆肥等需給実態調査結果)

山形県では、平成17年度に市町村と連携しながら、県内の堆肥の生産量と農地等への施用実態について調査しました。その概要は以下のとおりです。

1 県内の堆肥生産量

家畜排せつ物の年間排出量は約972千トン。

堆肥生産量は約442千トン。種類別には、牛糞堆肥が約8割を占める。

(t/年)

地域	家畜排せつ物 年間排出量	堆 肥 生 産 量					
		牛	豚	鶏	畜種混合	その他	計
村山	275,966	134,361	9,854	10,833	3,052	1,994	160,094
最上	95,177	66,396	7,858	325	0	0	74,579
置賜	297,111	115,285	8,895	971	0	470	125,621
庄内	303,474	33,386	21,981	9,548	12,900	3,880	81,695
県計	971,728	349,428 (79.1)	48,588 (11.0)	21,677 (4.9)	15,952 (3.6)	6,344 (1.4)	441,989 (100.0)

注1) 家畜排せつ物の年間排出量は、「平成17年農林水産統計(畜産統計)」等に基づく家畜飼養頭羽数から算出。

注2) 「その他堆肥」は、家畜排せつ物と生ゴミ等の混合堆肥、モミガラ堆肥など。

2 堆肥の利用状況

生産された堆肥の大部分は地域内で利用されており、約422千トンが農地等に施用されている。

約15千トンの堆肥が、県外に販売されている。

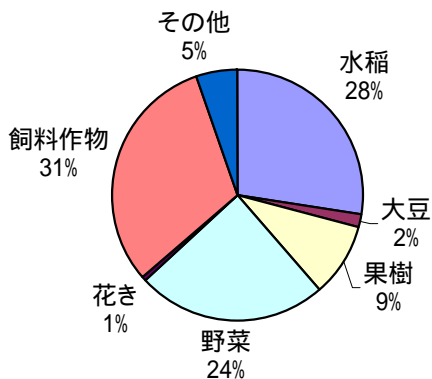
	農地施用量 (t)	県外販売 (t)	その他 (t)
村山	155,550	3,200	4,224
最上	64,629	9,500	450
置賜	122,141	600	
庄内	79,545	1,950	200
合計	421,865	15,250	4,874



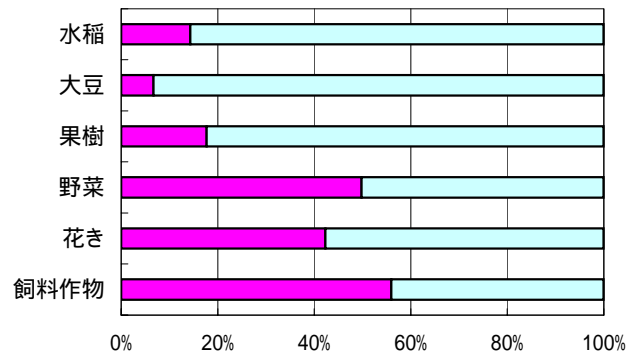
生産された堆肥は、水稻、野菜、飼料作物の栽培に多く利用されている。

作目別の堆肥施用面積割合は、飼料作物、野菜、花きが高く、大豆、水稻、果樹は低い。

県全体の農作物作付面積に占める堆肥散布面積は、約2割であった。



農地に施用されている堆肥の作目別内訳



作目別作付面積に占める堆肥施用面積割合